



平成 29 年 2 月 14 日

各位

会社名 片倉工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐野公哉
(コード：3001、東証第 1 部)
問合せ先 企画部長 水澤健一
(TEL. 03-6832-0223)

新中期経営計画「カタクラ 2021」の策定について

当社は、平成 29 年 2 月 14 日開催の取締役会において、2017 年度から 2021 年度の 5 カ年を計画期間とする新中期経営計画「カタクラ 2021」を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画「カタクラ 2016」の振り返り

カタクラグループは製糸業を祖業とし、1873（明治 6）年の創業以来、143 年の永きに亘る企業経営の中で築き上げた有形無形の資産を強みに、事業の拡大・多角化を推進してまいりました。前中期経営計画「カタクラ 2016」（2012～2016 年）では、「成長事業への転換」と「新規事業の創出」をグループ全体の基本戦略に掲げ、取り組んでまいりました。

その結果、大型社有地開発プロジェクトを中心とする不動産事業は順調に展開したものの、医薬品事業や繊維事業の不振もあり、2016 年の業績は連結売上高 469 億 27 百万円・連結営業利益 14 億 86 百万円（営業利益率 3.2%）にとどまり、前中期経営計画で掲げていた連結売上高 610 億円・連結営業利益 42 億円（営業利益率 6.9%）の目標を大幅に下回りました。

「新規事業の創出」については、前中期経営計画の期間中に、植物工場や介護分野等で事業を立ち上げました。今後はこれらの事業を軌道に乗せるとともに、グループの新たな柱となる事業の創出に引き続き取り組んでまいります。

2. 経営理念・経営ビジョン

(1) 経営理念

創業から143年の間に培われたカタクラグループの社風である「親和協力」のもと、ステークホルダーの皆様の満足を得ることに努め、社会と共に持続的な発展を目指すために、以下の経営理念を掲げております。

カタクラグループは、信義、誠実、親和協力を旨とし、命と健康を守り健全で豊かな社会の実現に貢献する。

(2) 経営ビジョン

カタクラグループは、「分散（多角化経営）と融合（シナジーの強化）」を追求し、それぞれの発想と、それぞれの技術、経験を持ち寄り、それぞれの市場の潮流を読むことで、下記のテーマに取り組んでまいります。

分散と融合を追求し、健康、安全・快適、環境との共生を実現する企業集団を目指し、新しい「成長の芽」を創り出す。

- ① 人々の健康な暮らしに貢献する事業を創り出す。
- ② 人々の安全で快適な暮らしに貢献する事業を創り出す。
- ③ 環境に貢献する事業を創り出す。

3. 新中期経営計画「カタクラ2021」

カタクラグループは、本計画において『愛される200年企業の礎ができていること』を到達目標といたします。

(1) 基本戦略

◎ 成長事業への転換

- ・ 多様化する顧客ニーズに対応し、特定領域でのNo.1を目指す
- ・ 既存事業のビジネスモデルを見直し、成長事業へシフトすることで、収益基盤を強化する
- ・ 新興国市場の開拓を推進する

◎ 新規事業の創出

- ・ 多角化した事業のシナジーを効かせ、新規事業を創出する
- ・ 人々の潜在ニーズに応え、独創的な製品やサービスを提供することで、成長事業を創出する
- ・ 長期的な展望のもとでカタクラグループの新たな柱となる事業を創出する

(2) 数値計画

(単位：百万円)

	2016年度 実績	2021年度 計画	増減
売上高	46,927	56,600	+9,672
繊維事業	9,635	11,500	+1,864
医薬品事業	15,065	15,200	+134
機械関連事業	9,412	13,000	+3,587
不動産事業	10,188	10,800	+611
その他	2,626	6,100	+3,473
(うち新規事業)	(122)	(2,000)	(+1,877)
営業利益	1,486	5,200	+3,713
繊維事業	△ 250	500	+750
医薬品事業	199	1,200	+1,000
機械関連事業	88	400	+311
不動産事業	3,176	4,000	+823
その他	△ 511	300	+811
(うち新規事業)	(△ 484)	(100)	(+584)
調整額	△ 1,216	△ 1,200	+16
営業利益率	3.2%	9.2%	+6.0pt

<設備投資額・減価償却費・研究開発費>

(単位：百万円)

	2012-2016年度実績	2017-2021年度計画
設備投資額	31,036	25,000
減価償却費	16,449	16,000
研究開発費	14,801	12,000

<新中期経営計画を支える事業基盤>

- ① 業績・財務が悪化状態またはその傾向にある事業については、2018年度中を目途に、不採算であるビジネスの縮小・撤退も視野に入れながら構造改革を完了させ、継続的な成長が見込めるビジネスモデルに転換する。
- ② 継続的に成長している事業については、事業領域を拡大させ、更なる成長を目指す。
- ③ 「介護福祉・健康分野」、「アグリ・環境分野」、「防災・安全分野」、「高付加価値素材分野」、「さいたま新都心エリアでの新事業分野」をグループの重点戦略分野とする。

該当分野では、各事業セグメントの経営資源を持ち寄り、他社との業務提携やM&Aを積極的に活用しながら、グループの新たな柱となる事業の創出を目指す。

(3) セグメント別戦略

各セグメントの中長期的目標を定め、その実現のための具体的な戦略として5カ年の事業戦略を展開してまいります。

① 繊維事業

<中長期目標>

- ・ 健康と美を追求する高付加価値インナーメーカーへの転換
- ・ 産業素材メーカーとしての地位を確立
- ・ 海外での販売拡大

<具体的な戦略>

- ・ 天然素材を基軸にした新 NB 商品の展開
- ・ 新たな高機能素材の開発と耐熱性繊維の用途開発
- ・ アジアを中心とした海外マーケットへの進出
- ・ 実用衣料分野の機能再構築による競争力の強化

② 医薬品事業

<中長期目標>

- ・ 循環器領域にその周辺領域を新たに加え、付加価値後発品を中心に展開することによる当該領域でのプレゼンス向上

<具体的な戦略>

- ・ 周辺領域である腎・透析領域等への参入
- ・ 後発品事業における自社開発のほか他社との提携の強化
- ・ ライセンス展開による新薬の研究開発効率化
- ・ 承継及びコ・プロモーション（販売提携）の強化

③ 機械関連事業

<中長期目標>

- ・ 消防自動車等の既存領域に加え、新たに防災事業を確立
- ・ ロボット技術・自動化技術を駆使した新製品開発
- ・ 海外での販売拡大

<具体的な戦略>

- ・ 消防自動車の性能向上と周辺分野の拡大ならびに艤装技術を基にした特装車両の開発
- ・ Vowcan シリーズの拡充と防災分野への参入
- ・ アジアを中心とした海外マーケットへの進出

④ 不動産事業

<中長期目標>

- ・ 社有地開発をベースに新規取得開発の推進による事業領域の拡大

<具体的な戦略>

- ・ さいたま新都心第三期開発への着手
- ・ さいたま新都心エリアにおけるまちづくり視点でのビジネスの拡充
- ・ 新規取得開発と既存施設の再構築

⑤ その他

<具体的な戦略>

- ・ ミツバチの自家増殖技術を活かした養蜂ビジネスの拡大
- ・ 植物工場による高付加価値野菜の開発・拡販と量産体制の構築
- ・ 介護サービスの業容拡大と介護福祉機器の開発・拡販
- ・ 美容分野の商品ラインナップの拡充と健康食品分野への参入

(4) コーポレート機能の強化

- ・ グループガバナンス機能の強化とグループ運営の効率化
- ・ グループ内の人材交流によるグループ成長に資する人材の育成強化

新中期経営計画に関する詳細につきましては、2月23日開催予定の決算説明会でご説明後、以下当社ホームページに掲載いたします。

<http://www.katakura.co.jp/company/plan.htm>

以上

(注) 本資料記載の将来に関する事項につきましては、本資料発表時点において入手可能な情報ならびに、業績に与える不確実な要因に関する本資料発表時点の仮定を前提としております。実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。